

呉空襲と呉工廠

戦時体制期、それは呉市が究極的に膨張した時であり、極度に緊張し、危機にみまわれた時でもありました。呉地方を襲った主な空襲は、昭和20年3月19日の呉軍港への攻撃を皮切りに、その年の7月28日まで全6回におよんでいます。



圧迫される 戦時下の生活

「大和」の建造に代表される海軍の拡張は、呉市の経済に活況をもたらした。だがその一方で消費経済に直接関係する平和産業が整備・縮小され、また「大和」の建造にさいして造船ドックの四分の一に大屋根が取り付けられるなど、徹底した機密保持対策がとられた。昭和一二

（一九三七）年八月一四日には、「呉軍港防諜規程」が制定され、これにそって呉軍港防諜協議会が結成された。こうして呉市には、市民総ぐるみの監視体制がつくられていくのである。すでに呉工廠においては、繁忙のため残業がつづき工員の自由時間が極端に制限されており、市全体から自由な雰囲気は失われていく。

戦局の悪化により、市民生活は極度に圧迫されていた。鮮魚・野菜

などの生鮮食品を中心に食料品が不足し、市民はいつも空腹と栄養不良に悩まされていた。空腹をかえながら留守をまわる婦人たちは、日常生活を支えつつ、防空訓練、建物疎開、勤労奉仕、出征兵士の見送りなどに忙しい毎日を送っていたのであった。またすでに述べたように、子供たちは父母のいる呉を離れて疎開生活をしなければならなかった。

（呉の歴史より）



1/ 破壊された旧呉工廠 昭和21年（A.Ferguson氏提供）。2/ 呉海兵団へ向かう若者見送りに集まった村人たち（昭和村）昭和15年1月 出典：呉海兵団『信練候補修業記念』昭和15年1月入団（荒地篤磨氏提供）。

空襲と敗戦

苦しいながらも営まれていた戦時下の生活も、空襲によりついに維持することができなくなった。呉地方を襲ったおもな空襲は、昭和二〇（一九四五）年三月一九日の呉軍港と呉と広の軍事施設への攻撃をはじめとして、五月五日（広工廠・一一空廠）、六月二二日（呉工廠造兵部門）、七月一〜二日（呉市街地）、七月二四日（呉軍港）、七月二八日（呉軍港）の六回におよんでいる。このうちもっとも呉市民に大きい被害をもたらしたのは、七月一日夜半から二日の未明にかけての呉市街地への焼夷弾攻撃であった。

（呉の歴史より）

3月19日の呉地区の初空襲のさい、呉軍港においては、アメリカ軍機と日本側砲台・艦船とのはげしい戦闘がくりひろげられ、対空弾は満天をおおった。アメリカ軍の攻撃に対し、日本側は、松山基地にいた新編成の343航空隊の紫電改部隊などが迎撃し、最後の空戦をおさめたといわれている。このはげしい戦闘で、呉に集結していた「帝国海軍」の残存艦艇の多くが損傷を受け、「さながらパール・ハーバーの逆」となったわけである。

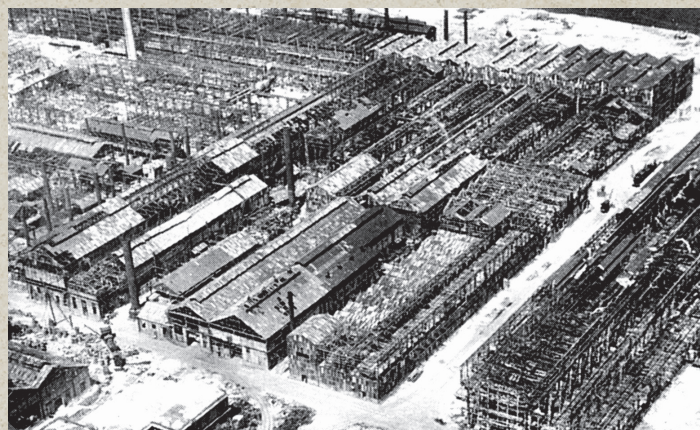
（呉の歩みⅡより）



3



1



4



2

1/ 昭和20年7月1日から2日未明にかけて焼夷弾攻撃によって、呉市街は焼け野原となった。この空襲により判明しているだけでも1869人の死者をだしている。写真は空襲をうけて炎上する呉市街 昭和20年7月2日（稲田写真館提供）（呉の歩みより） 2/ 空襲の跡のなまなましい旧呉工廠 昭和21年（R.Sinton氏提供）。3/ 空襲のさなか必死で消化作業する消防署員（蔵本通3丁目・消防署付近）昭和20年7月2日（稲田写場提供）。 4/ 復興待たれる旧呉工廠地区 昭和24〜26年（G.Kearns氏提供）

お土産に、自宅で楽しみたい! そんな方に

呉鎮守府130周年限定商品

呉の地ビール 海軍さんの 麦酒コラボ商品登場!!

呉鎮守府開庁130周年を記念して、呉ビール㈱から130周年記念のビールとコースターが販売された。呉鎮守府開庁130周年の文字と地方総監部のイラストが描かれた瓶ビールで、1本550円(税抜)。中身は、リッチな麦芽の味わいに、爽やかなホップの苦味とすっきりした飲み口の爽快感が一番人気の「ピルスナー」。また揃えて楽しみたいコースター1枚50円(税抜)も。「記念すべき130周年を呉の企業として盛上げたいと販売しました。ご購入は海軍さんの麦酒館内の売店でお求め下さい」と佐々木雅治さん。

呉ビール㈱

☎0834-26-9191 ㊟ 呉市中通 1-1-2
🕒 17:00 ~ 21:30 (土曜 11:30 ~ 21:30)
🔥 火曜



昭和時代の人々の生活が垣間見える呉の町の写真募集 (〆切 8月20日迄)

歴史を辿るシリーズは、次号も続きます。それに伴い、読者の皆様から懐かしの昭和時代の人々の生活が垣間見える呉の町の写真を募集します。写真をお持ちの方はぜひ右記までご応募ください。

〈応募方法〉

メールまたは郵送にて受付致します。住所・氏名・年齢、写真についてのエピソードを添えて御送りください。
〒737-0811 広島県呉市西中央 2-5-7-4F
くれえばん編集室「歴史を辿るシリーズ」係
メール info@kureeban.co.jp



1/ 廃墟と化した市街地の光景 昭和20年冬(多門寺昱雄氏提供)。左側に焼失をまぬかれた旧海軍将校用住宅、右側にアメリカ占領軍のテント兵舎が見える。また、中央部には三角式応急住宅(三角兵舎)の屋根がいくつも見える。
2/ さびしさの漂うメインストリート(本通5丁目)昭和21年(D.Bailey氏提供)。 3/ 呉四ツ道路マーケット付近の景色(本通3丁目)昭和20年代初期(坂田泰山氏提供)。かつての呉市のメインストリート本通の光景をとらえた写真である。建物が焼失したこともあって電車通には寂しさが漂うが、本通3丁目付近には市民に日用品を供給するマーケットが出現したり、横丁には占領軍相手の酒場が開店するなど、たくましく復興する息吹も感じられる。

呉空襲直後の当時の呉の町並みは一面、焼け跡が広がっていました。平坦部はほとんど空襲のため焼失したことが分かります。しかし、厳しかった戦争が集結したこともあって、どこかしらほっとした雰囲気を感じさせる光景も見られる時代でした。

当時の呉の町並み

昭和時代・戦中・戦後

vol.02

モノ造りの職人たち

呉が誇る
技術力を
受け継ぐ。

Inherit technical skills

造船の溶接を中心に活躍中！

— 01 — いただに工業 —

巨大船やプラント設備の製造を請け負っている「いただに工業」。呉が誇る技術力を若者に受け継ぎながら、船づくりに携わるという誇りを感じとってもらうために、知識も経験もゼロという未経験者でも溶接職人を育てる環境が充実している。これまでに個人で活動していた溶接職人とも協力しており、現在では溶接だけでも100人近くの職人が在籍。この組織力を活かして、造船の工程「小組」「中組」「大組」「外業」すべてカバーでき、ワンストップで巨大船を製造できる日本でも数少ない造船所の協力業者となっている。



大きな船づくりに携われることは誇り。

現在は、18歳〜20代の若手を中心に活躍している。もちろん男性だけでなく、女性にも働きやすい環境で、時短勤務もあるのが相談を。また、会社のバックアップでガス溶接・玉掛けなどの資格の取得もできるので、スキルアップも可能。モノづくりの職人として技術を学んで成長していきたいという向上心のある方にもピッタリ。是非、弊社と一緒に働きませんか？

企業の顔
若手の
ホープ達！

18歳〜20代の
若手が活躍しています。



採用情報
詳しくは下記
Web サイトへ

女性社員の時短勤務もあります。(9:00〜16:00) 詳しくは Web へ

会社情報



株式会社
いただに工業
☎ 0823-52-1463

いただに工業公式
WEB サイト



いただに工業公式
採用情報サイト



呉市音戸町坪井 2-15-13
創立 / 平成 3 年 11 月
代表者 / 板谷 勝次
資本金 / 1,000 万円
従業員数 / 190 人 (内社員 48 人)
事業所 / 呉市昭和町 2- 1
<https://www.itadanikogyo.co.jp/>

1日のSCHEDULE

8:00	出勤、体操、ミーティング
8:30	作業開始
12:00	昼休憩
13:00	ミーティング
13:15	作業開始
17:00	退社